

クルマのみでの移動とクルマを使わない移動を比較してみませんか？

交通行動診断カルテ (お金編)

「移動に関するおはなし」に目を通していただきありがとうございます。(まだの方は「移動に関するおはなし」をご覧ください。)クルマによる移動と公共交通機関等を使った移動の違いについて、興味をもっていただけたら幸いです。

この資料は、実際にあなたの交通行動について、**クルマのみでの移動**と**クルマを使わない移動**を「お金(移動コスト)」の視点から比較できるよう、ご用意いたしました。5分ほどで記入できますので、①～⑤の順でぜひお試しください。

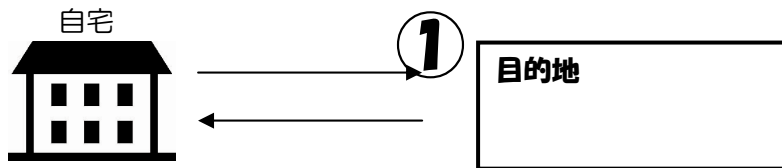
このカルテの使い方

- ① 会社や学校やお店など、よく行く目的地を一か所決めて記入してください。
- ② 自宅からその目的地まで、クルマ(またはバイク)で移動した場合の距離を記入してください。(参考:1分≒0.4km進む)
- ③ ②で記入した距離を当てはめて、移動コストを計算してみてください。(駐車料金が必要な場合は駐車料金も記入)
- ④ 自宅からその目的地まで、クルマ(またはバイク)を使わないで移動した場合の移動内容を記入してください。

(同封の「市バス・地下鉄 路線図・ご利用案内」や交通局 HP 参照)

記入例 自宅 → 徳重駅 → 栄駅 → 会社
 自転車 1km 地下鉄 15.5km 徒歩 0.2km

- ⑤ ④で記入した移動内容に基づき、**往復にかかるお金**を記入して移動コストを計算し、下欄に3つの合計を記入してください。



クルマのみでの移動

(バイクのみでの移動も含む)

② 往復 km

③

・ガソリン代
クルマ 13 円/km × km = 円
バイク 6.5 円/km × km = 円

・駐車料金 円

・クルマ維持費 円

合計 円

軽自動車 : 1,016 円/日
小型車(5ナンバー): 1,425 円/日
普通車(3ナンバー): 2,079 円/日
から選んでください!

クルマを使わない移動

④

⑤

自転車 駐輪料金 円

バス 乗車料金 円

鉄道 乗車料金 円

合計 円

クルマのみでの移動とクルマを使わない移動でコストの違いはありましたか?さらに、1年間この移動をしたら、違いはどうなるかなども考えていただきたいと思います。

裏面では環境・健康・事故の視点からも同様に比較ができますので、お時間があるときにぜひお試しください!

★環境や健康についてもお金と同様に比較してみましょう。

クルマを使って移動した場合のCO₂排出量

※表面の②で記載した移動距離を記入して計算

クルマ 165_{g/km} × km =

バイク 92_{g/km} × km =

g

クルマを使って移動した場合の消費カロリー

※表の②で記入した移動距離を移動時間に置き換えて計算（参考 1km 進む≒2.5 分）

1.7_{kcal/分} × 分 =

kcal

クルマ以外の手段で移動した場合のCO₂排出量

※表面の④で記入した移動のうち、バスと鉄道の移動距離を記入して計算

バス 48_{g/km} × km = g

鉄道 18_{g/km} × km = g

合計

g

クルマ以外の手段で移動した場合の消費カロリー

※表の④で記入した移動にかかる時間を記入して計算（徒歩には乗換時の移動時間も加算する）

徒歩 3.3_{kcal/分} × 分 = kcal

自転車 3.8_{kcal/分} × 分 = kcal

バス 2.2_{kcal/分} × 分 = kcal

鉄道 2.2_{kcal/分} × 分 = kcal

合計

kcal

★事故については、クルマの年間乗車距離の合計から、年間で何件事故を起こす可能性があるか、計算してみましょう。

あなたは、年間で何キロほどクルマに乗車しますか？

	平日	休日	その他
1 日	<input type="text"/> km	<input type="text"/> km	<input type="text"/> km
年間	<input type="text"/> km × 265 日 = <input type="text"/> km	<input type="text"/> km × 100 日 = <input type="text"/> km	

合計 Km

愛知県の場合、平成 22 年の 1 年間では、1 億走行台キロあたり、51,161 件の死傷事故が発生しました。（1km あたり 0.0005 件）この実態から、あなたの場合を考えると・・・

0.0005_{件/km} × Km = 年間 件 事故にあう可能性があり。

★環境・健康・事故についての詳しい情報は、ホームページ「みんなでトクする 日常の移動を考えるプロジェクト」に掲載しています。ぜひご覧ください！

計算に使われた数値や計算方法の根拠は下記の資料を踏まえておりますが、独自に作成したものも含まれます。みなさまのおかれた条件により異なることもありますので、目安とお考えください。

運輸部門における二酸化炭素排出量（国土交通省） 『モビリティ・マネジメントの手引き』（土木学会）
『市区町村の運輸部門 CO₂ 排出量の推計手法に関する比較研究』（国立環境研究所） 警察庁資料 愛知県警資料

この資料は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。